

1. 摂食・嚥下の一連の動作のうち誤っているものはどれか。
 - (a) 食道期
 - (b) 喉頭期
 - (c) 咽頭期
 - (d) 口腔期
 - (e) 認知期
2. 唾液腺腫瘍について誤っているものを選べ。
 - (a) 最も多いのが耳下腺腫瘍である
 - (b) ワルチン腫瘍は下極に発生しやすい
 - (c) 多型腺腫は両側性に発生しやすい
 - (d) 舌下腺腫瘍は悪性が多い
 - (e) 悪性の場合顔面神経麻痺を生じることがある
3. 次のうち誤っているものを2つ選べ。
 - (a) 嚥下障害の治療として喉頭挙上術を行うと、発声機能が失われる
 - (b) 咽頭の運動・感覚は、舌咽神経・迷走神経支配である
 - (c) 口蓋扁桃、アデノイド（咽頭扁桃）は年齢とともに増大、縮小する
 - (d) 口蓋扁桃は上咽頭に存在する
 - (e) 咽頭には、リンパ組織が輪状に存在し、Waldeyer 咽頭輪を形成する
4. 消化管ホルモンはどれか。
 - (a) erythropoietin
 - (b) adiponectin
 - (c) prolactin
 - (d) incretin
 - (e) leptin
5. PIVKA-II が高値となりうる疾患・病態を2つ選べ。
 - (a) Lewis 抗原陽性
 - (b) 肝細胞癌
 - (c) ビタミン B12 欠乏
 - (d) ビタミン K 製剤内服中
 - (e) ワーファリン内服中
6. 組合せで誤っているのはどれか。

(a) ソマトスタチノーマ	— 胆石
(b) インスリノーマ	— 低血糖
(c) VIPoma	— 高カリウム血症
(d) グルカゴノーマ	— 壊死性遊走性紅斑
(e) ガストリノーマ	— 消化性潰瘍
7. スクリーニングについて誤っているのはどれか。
 - (a) 偽陰性が少ないほど有用である
 - (b) 陽性尤度比が大きいことが望ましい
 - (c) 検査前確率が低いと偽陽性が少なくなる
 - (d) 感度を高くすると特異度は低くなる
 - (e) カットオフ値は ROC 曲線で決める
8. 水分の吸収量が最も多い部位はどれか。
 - (a) 右半結腸
 - (b) 左半結腸

- (c) 直腸
- (d) 小腸
- (e) 胃

9. 胃癌について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 壁深達度 T2 とは、癌の浸潤が固有筋層を超えて漿膜下層組織にとどまるものである
- (b) 早期胃癌とは、リンパ節転移の有無を問わず、深達度が粘膜および粘膜下層にとどまるものである
- (c) 左鎖骨上リンパ節転移を Virchow 転移、卵巣への転移を Schnitzler 転移と呼ぶ
- (d) 腹腔洗浄細胞診陽性 (CY1) は、遠隔転移として扱う
- (e) 2型腫瘍は、潰瘍を形成し周囲粘膜との境界が不明瞭な周堤を形成する

10. 次のうち内ヘルニアはどれか。2つ選べ。

- (a) 閉鎖孔ヘルニア
- (b) 内鼠径ヘルニア
- (c) 腹壁瘢痕ヘルニア
- (d) 大網裂孔ヘルニア
- (e) Winslow 孔(網嚢孔)ヘルニア

11. 緩和的放射線治療の適応とならないのはどれか。

- (a) 食道がん多発胸膜播種による呼吸困難
- (b) 肛門がん腰椎転移による下肢麻痺
- (c) 直腸がん仙骨転移による疼痛
- (d) 肝臓がん脳転移による片麻痺
- (e) 胃がん原発巣からの出血

12. 食道の腫瘍性病変で、正しいものはどれか。

- (a) 角化の有無により、分化度(低分化、中分化、高分化)に分類される
- (b) バレット上皮は、扁平上皮癌の発生母地となる
- (c) 異形成という病理組織学的分類は無い
- (d) 日本人には扁平上皮癌よりも腺癌が多い
- (e) 糖原性棘細胞症は悪性腫瘍である

13. 大腸腫瘍について誤っているものはどれか。

- (a) 大腸で多い悪性リンパ腫は、B細胞系である
- (b) Cronkhite-Canada 症候群は、過誤腫の像を呈するポリープが多発する
- (c) SSA/P (sessile serrated adenoma/polyp) は右側結腸に多くみられる
- (d) Lynch Syndrome (リンチ症候群) では、ミスマッチ修復遺伝子の変異がみられる
- (e) 大腸カルチノイド腫瘍では、クロモグラニン、シナプトフィジンともに陰性となる

14. 次の中から正しいものを選べ。

- (a) 潰瘍性大腸炎は大腸に局限する非連続性の全層性炎症が特徴である
- (b) Crohn 病は潰瘍性大腸炎に比べて高齢発症も多くみられる
- (c) Crohn 病では長期罹患による大腸がんが問題となる
- (d) 潰瘍性大腸炎の腸管合併症として痔瘻が最も多い
- (e) ステロイドは IBD 治療において強力な寛解導入効果を有するが、寛解維持の効果はない

15. 次の中から正しいものを選べ。

- (a) Lynch 症候群では子宮内膜癌の合併が最も多い
- (b) Stage IV の大腸がんは Stage IV の胃癌より予後が悪い
- (c) Peutz-Jeghers 症候群は常染色体劣性遺伝の過誤腫性ポリポーシスである
- (d) Cronkhite-Canada 症候群は非遺伝性の腺腫性ポリポーシスである
- (e) 大腸がんは現在男女通じて年間の死亡者数が最も多い癌腫である

16. 胃疾患について正しいのはどれか。2つ選べ。
- (a) 現在 20 代の *H. pylori* 感染率は 40% 程度である
 - (b) 胃に発生する悪性リンパ腫の中で、頻度が高い組織型は胃 MALT (Mucosa-associated lymphoid tissue) と DLBCL (Diffuse large B-cell lymphoma) である
 - (c) 手術不能な GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor) の治療として、ニボルマブが有用である
 - (d) 胃癌の中で *H. pylori* 未感染の胃癌の割合は 1% 程度である
 - (e) *H. pylori* は主に 10 代に感染する
17. 食道疾患に関する次の記述のうち正しいものを 3 つ選べ。
- (a) 胸部中部食道 (Mt) は漿膜に覆われている
 - (b) 食道癌の危険因子として飲酒、喫煙があげられる
 - (c) 特発性食道破裂は、食道上部に好発する
 - (d) 食道アカラシアの診断には、食道内圧検査が有用である
 - (e) 早期食道癌は、原発巣の壁深達度が粘膜内にとどまり、リンパ節転移の有無は問わない
18. 次のうち蛋白漏出性胃腸症をきたさないものはどれか。
- (a) Crohn 病
 - (b) 腸リンパ管拡張症
 - (c) 非特異性多発性小腸潰瘍症
 - (d) 収縮性心外膜炎
 - (e) 過敏性腸症候群
19. Crohn 病について誤っているものはどれか。
- (a) 縦走潰瘍や敷石像がみられる
 - (b) 女性に多い
 - (c) 口腔～肛門までのあらゆる消化管に炎症をきたすことがある
 - (d) 腹痛、下痢、発熱、体重減少などがみられる
 - (e) 消化管は全層性に障害される
20. 次のうちで誤っているものはどれか。
- (a) 機能性ディスペプシアでは各種検査にて明らかな器質的異常を認めない
 - (b) 胃アニサキス症に対しては虫体の内視鏡的摘出が有効である
 - (c) 胃十二指腸潰瘍の原因の 1 つに、NSAIDs (非ステロイド性抗炎症薬) の服用がある
 - (d) 10mm 以上の胃底腺ポリープは癌化を考慮して内視鏡的切除を行う
 - (e) 胃びらんとは、組織欠損が粘膜層のみの状態のことをさす
21. *H. pylori* について誤っているものはどれか。
- (a) 幼児期に自然感染した *H. pylori* は、ほとんど自然排除されることはない
 - (b) 胃 MALT リンパ腫は、*H. pylori* 除菌療法の保険適応である
 - (c) *H. pylori* の感染率について、年齢が高いほど感染率は高い
 - (d) Strickland-Mackay 分類における A 型胃炎は、*H. pylori* 感染と関連が深い
 - (e) *H. pylori* 陽性の慢性胃炎 (萎縮性胃炎) 患者は *H. pylori* 未感染者と比較して胃癌発生のリスクが高い
22. 肝硬変の成因で増加傾向にあるのはどれか。2つ選べ。
- (a) B 型肝硬変
 - (b) C 型肝硬変
 - (c) アルコール性肝硬変
 - (d) 自己免疫性肝炎
 - (e) 非アルコール性脂肪肝炎
23. 急性虫垂炎でみられない徴候はどれか。
- (a) 筋性防御
 - (b) Murphy 徴候

- (c) Rovsing 徴候
- (d) Blumberg 徴候
- (e) Rosenstein 徴候

24. 大腸癌の病期を規定する因子でないのはどれか。

- (a) 肝転移
- (b) 腹膜転移
- (c) リンパ節転移
- (d) 組織学的分類
- (e) 壁深達度

25. 肛門疾患について正しいのはどれか。

- (a) 内痔核は3時、7時、11時に好発する
- (b) 内痔核は排便時痛が特徴である
- (c) 内痔核は直腸癌の合併が多い
- (d) 外痔核は歯状線の口側に発生する
- (e) 血栓性外痔核は痛みを伴うことがまれである

26. 胆石の原因となるもので誤っているのはどれか。

- (a) 遺伝性球状赤血球症
- (b) 糖尿病
- (c) 妊娠
- (d) 胃切除後
- (e) 急性膵炎

27. 胆道疾患について正しいのはどれか。

- (a) 胆管と膵管は通常、十二指腸壁外で合流している
- (b) 肝門部領域胆管癌では Courvoisier 徴候が認められる
- (c) 肝内結石症で肝腫大を認める場合は肝切除の適応である
- (d) Calot 三角は左肝動脈の位置を予測しておくために重要な指標となる
- (e) 膵胆管合流異常症の胆道非拡張型では胆嚢癌の合併が多い

28. 膵臓から外分泌される消化酵素はどれか。2つ選べ。

- (a) リパーゼ
- (b) インスリン
- (c) グルカゴン
- (d) セクレチン
- (e) アミラーゼ

29. 膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) について正しいのはどれか。

- (a) 主膵管型 IPMN はブドウの房状の形態をしている
- (b) 他臓器癌を合併に注意が必要である
- (c) 分枝型 IPMN は悪性のものが多い
- (d) 膵尾部が好発部位である
- (e) 中年女性に多い

30. 乳腺疾患・診断に関して誤っているのはどれか。

- (a) 乳腺症の主症状である腫瘤・硬結・疼痛の多くは自然に軽快する
- (b) 血性乳頭分泌は乳管内乳頭腫で認める
- (c) 女性部位別がん罹患数で乳癌は第1位である
- (d) 線維腺腫は20-30歳代の女性に最も多く認められる
- (e) 乳癌の確定診断はマンモグラフィで行う

31. 乳癌に対する外科治療の考え方で正しいのはどれか。
- (a) 乳房再建術は、切除と同時に行うことが原則である
 - (b) 非浸潤性乳癌はステージ0であるので乳房温存術を第一選択とすべきである
 - (c) 乳房部分切除術後は、放射線療法を行うことが望ましい
 - (d) 乳癌手術の術式選択には、患者の希望より医療者の判断が優先される
 - (e) センチネルリンパ節生検は腋窩リンパ節郭清よりリンパ浮腫を起こしやすい

32. 免疫染色で行う乳癌のサブタイプに当てはまらないのはどれか。

- (a) HER2
- (b) Luminal A
- (c) Microsatellite unstable
- (d) Triple negative
- (e) Luminal HER2

33. 小児固形腫瘍と腫瘍マーカーとの組合せで正しいのはどれか。3つ選べ。

- (a) 横紋筋肉腫 — SCC
- (b) 腎芽腫 — CEA
- (c) 肝芽腫 — AFP
- (d) 神経芽腫 — NSE
- (e) 胚細胞腫瘍 — AFP

34. 疾患と治療法の組み合わせで正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 鎖肛（直腸肛門奇形） — 無神経節腸管切除術
- (b) A型食道閉鎖 — 人工肛門造設術
- (c) 胃食道逆流症 — 幽門筋切開術
- (d) 腸回転異常症 — Ladd手術
- (e) 腹壁破裂 — サイロ形成術

35. 癌の再発・転移について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 大動脈周囲リンパ節転移を伴う胃癌は全身化学療法の適応である
- (b) 再発、転移の診断にFDG-PET CTは有用である
- (c) 肝転移を伴う大腸癌は手術の適応とはならない
- (d) 粘膜下層まで浸潤する消化器癌では腹膜播種を生じることが多い
- (e) 肝転移はリンパ行性転移である

36. 腹腔鏡手術の特徴について誤っているのはどれか。

- (a) 骨盤内の死角が解消される
- (b) 開腹手術に比べて手術創が小さい
- (c) 開腹手術に比べて入院期間が短い
- (d) 拡大した視野で手術が可能である
- (e) 気腹のために酸素が使われる

37. 消化器癌手術における周術管理・栄養管理において正しいのはどれか。

- (a) 術前の心機能評価方法にASA分類がある
- (b) 低栄養を伴う患者に対して栄養サポートチーム（NST）の介入は必要である
- (c) 術後の予防的抗菌薬は1週間程度の投与が推奨されている
- (d) 術前に明らかな血栓がなければ、術後の静脈血栓症予防策は不要である
- (e) 術後は72時間以上のベッド上安静が必要である

38. 腹膜炎の所見はどれか。2つ選べ。

- (a) 腹壁静脈怒張
- (b) 筋性防御
- (c) Blumberg徴候
- (d) Dance徴候
- (e) Courvoisier徴候

39. 緩和医療について正しいのはどれか。2つ選べ。
(a) 全人的苦痛（トータルペイン）に身体的苦痛は含まれない
(b) 疼痛緩和に対する薬物療法は時刻を決めて投与する
(c) オピオイド使用時には下痢に注意を要する
(d) 緩和ケアは癌終末期と診断されてから開始する
(e) 疼痛緩和に対する薬物療法は経口薬から開始する
40. 次のうち正しいものを選べ。
(a) ウイルソン病では血清銅、セロプラスミンがともに上昇する
(b) シトリン欠損症は糖質を嫌い、脂質・タンパク質を好むような食癖が特徴である
(c) ゴーシェ病では肝腫大は強いが脾腫大は稀である
(d) アンモニアは主に腸内細菌で産生され、脳や骨格筋での産生はない
(e) 糖原病Ⅰ型では高身長や低乳酸血症をきたす
41. 消化管造影に関連して正しいのはどれか。
(a) 硫酸バリウム製剤やイオン性ヨード製剤は陰性造影剤である
(b) 硫酸バリウムは水溶性であるが、難脂溶性である
(c) 消化管造影検査直後の腹部CTは消化管を判別しやすくなるため有用である
(d) イオン性ヨード製剤には消化管運動抑制の作用がある
(e) 硫酸バリウム製剤はイオン性ヨード製剤に比して消化管粘膜の描出能が高い
42. 大腸CTについて正しいのはどれか。2つ選べ。
(a) バリウム製剤が標識剤として用いられる
(b) 平坦型大腸病変の検出能に優れている
(c) 拡張に炭酸ガスが用いられる
(d) 腹臥位など1体位のみで撮像が完了する
(e) 小腸カプセル内視鏡に準じた前処置が行われる
43. 核医学検査について誤っているのはどれか。
(a) 対象となる臓器・疾患により、使用する核種や製剤が異なる
(b) 肝胆道シンチは先天性胆道閉鎖症と乳児肝炎との鑑別に有用ではない
(c) 異所性胃粘膜シンチ（メッケル憩室シンチ）では $^{99m}\text{TcO}_4^-$ を用いる
(d) 高分化型肝細胞癌はFDG-PET/CT検査で集積が乏しいことがある
(e) FDG-PET/CT検査では尿路に生理的集積を認める
44. 腹部の解剖に関して正しいのはどれか。
(a) 胆嚢は肝鎌状間膜より左側にある
(b) 上行結腸より背側に回腸がある
(c) 臍頭部は臍尾部より頭側にある
(d) 脾臓と横隔膜の間を横行結腸が走行する
(e) 総胆管は通常、造影CTで同定できる
45. 虫垂炎、虫垂について誤っているのはどれか。
(a) 虫垂炎の原因として糞石が多い
(b) 虫垂炎では虫垂内に液貯留を認める
(c) 虫垂は固定されていない
(d) 盲腸癌は虫垂炎の原因となる
(e) 正常の虫垂の直径は10mm未満である
46. 次のうち正しいのはどれか。2つ選べ。
(a) 右副腎は下大静脈背側、肝右葉左側に存在する
(b) 臨床的に肝左葉と肝右葉は肝鎌状間膜のラインで分けることができる
(c) 脾静脈は脾臓腹側を走行し、上腸間膜静脈と合流後、門脈となる
(d) 上腸間膜動脈は上腸間膜静脈右側に存在する
(e) 左腎静脈は大動脈と上腸間膜動脈の間を走行し、下大静脈へ合流する

47. 次のうち誤っているのはどれか。
- (a) BRTO は胃静脈瘤の有効な治療法の 1 つである
 - (b) 肝細胞癌に対するラジオ波焼却療法 (RFA) は保険収載された治療である
 - (c) 血管造影下 CT である CTAP はカテーテルを下腸間膜動脈に留置して行う
 - (d) 門脈塞栓術は肝切除術後の肝不全を予防するために行う手技である
 - (e) 肝動脈化学塞栓療法 (TACE) は日本発祥の治療である
48. 胆道の画像診断に関して正しいのはどれか。2 つ選べ。
- (a) 一般に総胆管径は 11 mm 以下が正常である
 - (b) 総肝管がんでは通常、胆嚢腫大を伴う
 - (c) 総胆管結石の検出感度は MRI より CT の方が優れる
 - (d) 膵胆管合流異常症では癌が発生しやすい
 - (e) 胆嚢腺筋腫症は Rokitansky-Aschoff sinus の拡張が診断の根拠となる
49. 膵臓の画像診断において正しいのはどれか。2 つ選べ。
- (a) 通常、膵癌は膵実質相にて多血性腫瘍として同定される
 - (b) 急性膵炎では発症から 4 週間を境に局所合併症の名称が変わる
 - (c) 慢性膵炎の診断には病理診断が必須である
 - (d) 膵鉤部癌は胆管や主膵管から離れており、症状に乏しいため発見が遅れる
 - (e) 主膵管は 5 mm 径以下であれば正常範囲とする
50. 膵・胆管合流異常について誤っているものはどれか。
- (a) 膵癌の合併頻度が高い
 - (b) 胆嚢癌の合併頻度が高い
 - (c) 急性膵炎の原因となる
 - (d) 胆汁中のアミラーゼ値が上昇する
 - (e) 胆管拡張を認める場合には拡張胆管の切除が必要である

コメント

消化器の合否判定ないし再試は消化器前半後半を一緒に行われました(血液については不合格者がいなかったそうです)。

ご覧のとおり、再試は本試の問題から出題されております。

その他の詳しい情報については、本試のコメントのほうをご参照ください。